

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年6月19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103946
法人名	株式会社 ショコラ
事業所名	グループホーム ショコラうすき
所在地	鹿児島県鹿児島市宇宿7丁目14番3号 (電話) 099-275-7075
自己評価作成日	令和元年5月21日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年6月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームは、宇宿の閑静な住宅地に立地しており、直ぐ近くには医療機関(しょうこクリニック)やスーパー等があり、ご利用者様にとって恵まれた環境の中にあります。ショコラグループとしては、グループホームショコラながかり、小規模多機能ホーム、共同託児所(ぶちショコラ)、かごしまショコラ保育園、しょうこクリニックの事業も行っております。同施設内に共同託児所(ぶちショコラ)が併設しており、子供達との交流を取り入れ、楽しんで頂いている中で、ご利用者様の日常生活における活力をもたらし、生き甲斐や心の充実に繋がる環境作りにも取り組んでおります。また、ご利用者様の地域の夏祭りや敬老会への参加やスタッフも地域のスポーツ大会への参加を通じて地域との交流も図っております。スタッフにおきましては、「今日が最期の日」という気持ちで、一日でも長く楽しい時間を過ごして頂ける様に一同日々努力をしております。ご利用者様とご家族様との絆や関係作りを大切に、より良い時間の提供も行っております。又、施設内での日々の生活を解かって頂く為に、日々の様子や活動参加の様子を写真撮影し、ご家族様に閲覧して頂いたり、ショコラ便り(事業所新聞)にお便りも添えて毎月配布致しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、市中心地より少し離れた、住宅が立ち並ぶ一角にデイサービス事業所や共同託児所と共に設置されており、事業所間で日常的な交流があり、研修、災害訓練、イベント等を合同で実施するなど協力関係が構築されている。ホームは、地域密着型サービス事業所として住民に周知されて、散歩時の会話や友人知人の来訪、地域店での買い物、地域行事への参加、ボランティアの受け入れ等に積極的に取り組み、また、ホーム主催のイベントには、多くの家族や住民の参加が得られており、これらの交流は利用者の楽しみとなっている。また、高齢者福祉や認知症ケアに関する住民からの相談等に適宜助言を行い、「町づくり活動」のメンバーにもなって活動している。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者の誇りや尊厳を大切にしながら思いの把握に努め、その人らしい生きがいのある暮らしの支援に取り組んでいる。日頃から平穏な生活環境の確保に努めており、利用者の対人関係や思考、趣味などにも細心の心配りに努め、試行も重ねながら改善を図っている。利用者や家族からの意見や要望に対しては、ミーティング等で協議して改善に取り組むなど、より良いサービスの実践に日々努めており、利用者や家族との信頼関係を構築している。

管理者は、日頃から気軽に意見が言い合える雰囲気づくりに努め、意見や要望等を把握して運営やサービスの質の向上に取り組んでいる。職員のスキルアップを図る研修の実施や日頃のケアに対する助言・指導を積極的に行い、勤務シフトや外部研修の受講には、可能な限り本人の意向を反映させている。外部研修の受講に際しては法人による経費の助成制度もあり、有給休暇の取得等、職員の意欲向上及び働きやすい職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼で理念に基づく経営方針を盛り込んだ「行動手帳」を唱和し、スタッフ間の意識付け・ケアに繋がる理念の実践に取り組んでいる。	利用者の尊厳を大切に、その人らしい生活への支援を理念に掲げ、ホールや各ユニット出入口等に掲示し、朝礼時の唱和や「行動手帳」の音読、ミーティングでケアの振り返りや意見交換等を行って、意義の共有と理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し町内会の行事等へは職員だけではなく、可能な限りの入居者様も一緒に参加している。地域住民の方々によるボランティアの皆様・おたっしやクラブの方々を招いて踊り会を催し、地域住民の方々との交流を図っている。	自治会に加入して情報の把握に努め、地域の夏祭りや清掃、球技大会等に参加し、ホーム主催の踊り会や敬老会には多くの家族や地域住民の参加が得られている。日常的に家族の面会や散歩時の会話、託児所の幼児及びディサービスの利用者との交流が行われ、中学生の職場体験や高校生の実習、住民の施設見学、ボランティアによる慰問等も積極的に受け入れている。住民からの相談には専門性を活かして助言に努め「町づくり活動」のメンバーとしても活動するなど、円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	町内会の話し合いに参加したり、しょこらCLによる勉強会に同行してジョコラでの取り組みを説明している。又、日常的に地域住民の方々と交流する事で、情報提供や情報収集し易い環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>御家族に対して年2回のアンケート調査を実施している。（無記名での回答・返信用封筒を同封）頂いたご意見については、運営推進会議にて話し合い、改善している。</p>	<p>家族代表、地域住民、長寿あんしん相談センター職員、民生委員、薬局、マッサージ師等が参加して定期的開催している。ホームの現況や行事、ヒヤリハット等の報告及びミニ研修等を行ない、委員からは認知症ケアや防災、健康管理に関する質問や意見などが活発に出されて運営適正化委員会の趣旨も踏まえた会議となっている。職員は議事録で内容を共有し、業務の改善やサービス向上に務めている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>会合等の案内があった際は、積極的に参加している。又、ホームページ等を閲覧し、サービス向上に努めている。</p>	<p>市担当職員には、介護保険や各種制度の手続き、利用者のケアや施設運営に関する相談、意見交換等を行い、助言・指導を受けるなど協力関係を築いている。市や認知症連絡協議会主催の会合や研修会に積極的に参加して、行政や他施設職員との情報交換に努め、業務やサービスの向上に繋げている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>定期的に身体拘束廃止の研修を行っている。研修を通して身体拘束に関する理解を深め、実践している。施設施錠に関しては、日中はしていないが、防犯上20時以降は玄関施錠を行っている。</p>	<p>マニュアルを整備し、ミーティングや身体拘束委員会での研修の実施や意見交換で共通の認識を深め、拘束のないケアの実践に取り組んでいる。昼間は施錠は行わず、センサー等も活用しながら見守りや対話、寄り添いに努め、必要に応じて散歩に同行するなど工夫して安定を図っている。言葉づかいは丁寧語を基本としており利用者に応じたコミュニケーションの実施など配慮している。運営適正化委員会の定期開催の明確化を検討中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修において高齢者虐待防止関連法を学び、職員全員で取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修において地域福祉擁護事業や成年後見人制度を学び、職員全員で取り組んでいる。ご利用様で必要な方は、それらを活用出来る様に支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、不安や疑問点を伺い、納得をされた上で契約に関する行為を進める様に留意を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中で、入居者様や御家族とお話する機会を設け、自然な形で思いを引き出せる様に努めている。運営推進会議における御家族のアンケートを含め、々に繋げる様に努めている。	利用者の見守りや寄り添いの姿勢に心がけて、想いや意見を会話や表情、独自のサイン等で理解に努めている。家族からの要望等は、来訪時や運営推進会議、年2回開催の家族会やアンケートの実施、意見箱も設置して把握している。出された意見等はミーティングや「業務日報」等で共有し、協議してサービスの改善に取り組んでおり、家族にも対応状況の報告を随時行って理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>年2回職員が会社を書面で評価する機会、面談を通じて意見を聞く機会を設けている。</p>	<p>管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションに努め、ケアの中やミーティング、年2回実施の自己評価及び3者面談等で意見や要望を聴取し、必要に応じて個別の相談にも応じている。出された要望等は、協議して改善に取り組み、勤務シフトや外部研修の受講にも職員の意向を反映させている。スキルアップを図るため施設内研修の実施や資格取得へのバックアップ、また、外部研修の受講に際しては法人からの経費補助もある。勤務時間に配慮する等、働きやすい職場環境の整備に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職場へ定期的に足を運び、状況把握している。職員とのコミュニケーションも図り、給与は資格だけを考慮して決めるのではなく、職員本人の努力や、実績、勤務状況、他職員からの評価を考慮した上で決める体制にしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>会社の年間計画書を基に毎月の定期勉強会や研修案内を掲示して研修参加を実践している。更にケアの質の向上を目指して、職員向けのスキルアップ勉強会を月2回行っている。新人職員に対しては、主任・副主任が主体となって育成する体制を取っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者・職員の研修会、食事会の機会を設ける等して意見や要望を伝えたり、相談し易い環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居される前に必ず見学、スタッフの訪問を行う様にしている。その中で本人様の不安や要望を良く聞き、受け止める様に努めている。又、他の介護保険サービスの説明もする様に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御家族様にも上記同様、納得して頂いた上で更に十分な話し合いを行い、ご利用して頂ける様に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様にとって、今一番必要な援助内容・方法を考え、対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人様の好きな事、得意な事を引き出し、長年の技や知恵を教わる等、本人様を尊重しながら過ごして頂く様に配慮を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様が来訪された折には、本人様の状況報告を行い、又、日々の様子を知って頂ける様に「ショコラ便り」に写真を添えてのお手紙や電話連絡を定期的に行っている。お知らせを通して、本人様と御家族様が良い関係を保てる様に支援を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族様への行事（外出り・誕生日会）のご案内を行い、御家族様・馴染みのある方々に参加して頂ける様に提案している。ご自宅への外出の機会を設け、支援を行っている。	利用者の生活歴や家庭環境、社会性等を把握して、馴染みに関する情報を共有している。近隣からの入所者も多いことから友人・知人の来訪も頻繁にあるので、ゆっくり歓談できるように配慮し、また、本人の希望に沿って買い物や一時帰宅、通院、美容室、外食等を家族と連携して支援している。遠方の家族にも毎月、写真やコメントを添えた「ショコラだより」の送付や電話で利用者の近況を伝え、手紙等の取り次ぎも行なって関係の継続に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の相性や関係性等に十分な配慮を行い、心地よい空間と時間を過ごして頂ける様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了時の情報提供や、又その後も必要な方には、継続的な支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「その方らしい生き方」を中心に考え、介護者の自己満足にならないケアに努めている。	日頃から利用者の思いや意向の把握に努め、生きがいのある、その人らしい暮らしを家族と連携して取り組んでいる。全員での活動に加え、各利用者の意向や心身の状況に沿って趣味（編み物、演芸、ぬり絵、新聞購読等）や家事（掃除機、炊事の補助）への取り組み等、個別の支援にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前に御家族様や前施設からの情報収集を行い、状況・状態を細かく把握出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の朝礼時の申し送りや定期的なミーティングを行う中で、入居者様の状態（経過）を話し合い、今後の良いケアに繋げる様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様・ご家族様の意向を重要視し、回診・訪問看護時のご相談を行い、又、担当者会議の中では、職員も意見を出し合い入居者様本位の介護計画の作成に心掛けている。	本人・家族の意向や主治医、訪問看護等の意見を基にモニタリングやカンファレンスを実施し、利用者の残存機能に配慮した、きめ細かな介護計画を作成している。ケアの実施状況は「業務日報」や「バイタルチェック表」等に詳細に記録して共有を図っている。利用者の状況の変動に対しては、随時、計画を変更する等、実情に即した計画を作成して改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫は、個別サービスの記録により職員間の共有が出来ている。状態の変化を継続的に見る事が出来て介護計画の見直しに繋がっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	建物内に通いや同施設近隣に小規模多機能施設も備えており、在宅復帰後も慣れた空間を継続的に利用出来る様にしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を文書している地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様・ご家族・地域消防隊員・民生委員の方々の交えての消防訓練を年2回行っている。行事によっては、地域ボランティアの皆様の参加もあり、踊りを見せて頂ける等、地域に開けた施設を目指している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様・ご家族様の意向を第一に、かかりつけ医の選択を行っている。入退院は、御家族様同行を基本として行っているが、必要時には、御家族様の了承のもとで職員が同行をしている。	利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受診を支援しており、協力医療機関による月2回の訪問診療や必要に応じて歯科の訪問診療も活用している。他科受診については家族と協力して同行を支援し、協力医療機関とは毎日2回（朝、夕）健康状態の報告や24時間医療連携の体制も築かれて、利用者及び家族の安心に繋がっている。日頃から健康管理を徹底し、利用者の病状や受診結果等は密に家族にも報告するなど連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が、全入居者様の状態について把握出来る様な報告を行い、個々での看護を受けられる支援を行っている。又介護職員からの相談を受け易い様な環境作りに努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力医療機関との連携を図り、緊急時の受け入れ体勢を整えて貰える様にしている。入院中の面会、及びソーシャルワーカーとの情報交換や相談、退院後の情報提供や相談に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における対応については、本人様や御家族様からの希望を第一に考え、事業所内では「緊急時対応及び看取りに関する指針」に基づき方針を定めている。重度化の方に対しては、年1回の指針の説明と手続きを行う。	重度化や終末期のケアに対する指針を整備し、利用開始時に本人や家族に説明して同意を得ている。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族や訪問看護等の関係者は話し合いを繰返しながら可能な限り希望に沿った支援をチーム体制で取り組んでおり、殆どどの利用者の看取りを実施している。ミーティング等で終末期対応の研修を実施してスキルアップや職員の不安感の軽減を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応を定期勉強会でを行い、応急手当や初期対応についても取り組んでいる。緊急時対応のマニュアル掲示あり。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>非常時災害時対応を定期勉強会でやっている。年2回の消防訓練においては、様々な状況を想定しての訓練に取り組んでいる。ご近所、地域の方々とは日頃からお付き合いを大事にして緊急時には協力を得られる様に働きかけている。</p>	<p>年2回夜間を含む避難具等を利用しての災害訓練と消防署職員による研修をデイサービス事業所、託児所と合同で実施し、毎月開催の消防署主催の訓練にも参加して、ADLや救急救命の技術修得を図っている。また、災害発生時の地域住民や家族の協力を要請している。日頃から災害の報道をもとに意見交換の実施や連絡網、避難経路を確認する等、防災への認識を共有している。スプリンクラーや火災通報装置を設置し、懐中電灯、ラジオ等の整備や飲料水や食料品、介護用品を備蓄している。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者様の一人ひとりの人権を尊重する言葉かけや対応を心掛け、行っている。</p>	<p>利用者の尊厳やプライバシー確保については、ミーティング等で振り返りや意見交換を行って、利用者の身体状況や自己決定を尊重した適切なケアの実践に取り組んでいる。更衣や排泄、入浴時のケアに際しては人格や羞恥心に特に配慮しており、居室やトイレはドアに加えて暖簾も設置するなど、細かに配慮してプライバシー保護に努めている。情報誌への掲載など個人情報の取扱いについても承諾を得ており、ケアに関する帳票類も適切に取り扱われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の希望を第一とする為に、普段から会話（対話）を心掛け、思いを引き出せる様な環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体操・個別運動・公文式等1日の流れを作りながら、入居者様のその日の状態、一人ひとりのペースで参加出来る様に支援を行い、職員本意のケアにならない様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ホームへの出張カットを利用して頂いたり、近隣の美容室を利用されたりと本人様・ご家族の意向に沿って支援している。本人様が洋服選びから自立されている方もあり、見守り行う。必要な洋服等は、御家族様へお願いし、購入して下さる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「美味しそう」と思って頂ける様な器選び、盛り付けを心掛け、食事形態を工夫しながら、本人様ご自身で食べて頂ける様に支援している。材料の下ごしらえ、配膳・片付け等一緒に行っている。お誕生日、季節行事には特別メニューを設けている。	疾病に伴う食事制限や栄養バランス、形態、嗜好等に配慮したメニューを法人の管理栄養士が作成し、旬の野菜を活用しながら調理しており盛付等にも配慮している。利用者も下処理や配膳、片付け等を楽しみながら行い、職員も一緒に食事している。季節の行事食や手作りのおやつ、毎月の調理レク、家族との会食、弁当持参の外出等、食事が楽しみなものとなるよう工夫している。食事や水分の摂取状況を把握し、口腔ケアもプランに沿って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の献立は管理栄養士によりカロリー計算されており、3食の摂取量の記録と月1回の体重測定を実施している。入居者様の嚥下状態に合わせた食事形態の工夫や、介護食品も取り入れている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施している。自立されている方もあるが、1日1回は職員による口腔ケア（義歯清掃）を行い、夜間は義歯洗浄剤による義歯洗浄を行っている。又必要に応じては、歯科往診を依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的なトイレ案内を行い、一人ひとりの排泄パターンの把握を行い、本人様に気持ち良く排泄して頂ける様な支援をしている。毎月のパット購入にも注意を行い、パット検討も随時行っている。排泄の自立されている方に対しては、見守り・確認を行っている。	各利用者の排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の身体状況に合わせた介護用品やケアの方法を、介護計画に反映させて取り組んでおり、改善の成果も見られている。トイレ誘導や衣服交換時の言葉掛け等は、利用者の気持やプライバシーに特に配慮して取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便の形態や量、最終排便を記録し、排便状況を把握している。水分摂取の促しや歩行運動（散歩・階段昇降・廊下歩行）、足上げ運動の実施。トイレ案内時の腹部マッサージを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週3回（月・水・土）は決まっているが、その他でも本人様の希望があれば入浴は可能である。足浴・手浴・清拭も実施している。	週3回の入浴を利用者の心身の状態に配慮しながら支援しており、足浴や清拭への変更や好みの温度、時間、2人入浴等を柔軟に対応し、ゆっくりと気持ち良く楽しめるように配慮している。入浴を渋る利用者には無理強いしないで時間や順番の変更、声掛け等を工夫して意欲を待つように努め、利用者毎に入浴後の水分補給や皮膚疾患の手当を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	年齢やその日の身体状況に応じて、臥床を行っている。お昼寝は本人様への確認の上、休息の時間を支援している。夜間は一人ひとりの入眠時間に合わせ、対応・支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤された薬表は、個人ファイルへ保管している。処方内容が変わった際は、その都度全職員へ申し送りを行い、又専用ファイルに薬局よりの変更内容書を添付し、随時閲覧を行い、入居者様の変化に気づける様にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の日課となる新聞の閲覧、家事手伝いにおける食事作りの手伝い・盛り付け・片付け、洗濯物たたみ、掃除等、それぞれ役割を持って頂く為の支援を行っている。園芸や壁面飾り作成も趣味を活かして、興味を持って頂ける様に支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日等には、気分転換・体力作りを兼ねて一緒に近隣散歩へ出かけている。外出の計画では、御家族様も一緒に参加して頂き、錦江湾公園・慈眼寺公園等の遠方への外出の支援を行っている。	利用者の外出に対する意向は、日頃の関わりの中で把握し、健康状態や天候に配慮しながら、散歩やドライブ、買い物、一時帰宅、墓参り等の外出を家族と協力して取り組んでおり、また、季節の花見や弁当持参の外出などホーム全体での外出も実施している。園周辺の草花を愛でながらの散歩や近くの薬局での買い物、ディサービス事業所の利用者との交流など、日常的に外出の促進に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様の希望も強くあり、ご家族様との話し合いを行い、力量を踏まえ一定の金額を所持・本人様に管理して頂く支援を行っている。本人様の希望があった際は、職員が同行を行い、近隣へ買い物へ出かけ、支払いの見守り・支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	贈り物があった際に本人様が、お電話出来る様に支援を行い、季節のお便り（暑中見舞い・年賀状）を書く機会を設けている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	プライバシーに配慮する事は勿論、壁面の飾り付けやお花を飾ったりして、利用者様に季節を感じて貰える様にしている。刺激臭のある洗剤（カビ取り・ハイター）等は、夜間の人気の無い時間帯を選び最低限量を使用している。洗い物の際の不快音（茶碗類のぶつかる音等）をたてない様に心掛けている。トイレ内の清潔を保つ為に、汚染時はその都度掃除を行っている。床のゴミ拾い。	ホームはバリアフリーに配慮され廊下やホールは余裕のあるスペースが確保されている。随所に利用者の作品やイベント時の写真、活花、季節感のある貼り絵等が飾られ、清掃や空調、臭気等にも十分配慮して、和やかな雰囲気清潔感ある空間となっている。ホールの一角に対面キッチンや畳スペースがあり、テーブルセットやテレビ等の家具が利用者の動線や利便性に配慮して設置されており、利用者は好みの場所で園庭の植物を眺める等、平穩に過ごしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりの方のお好きな場所で和気あいあいと過ごして頂ける様に、支援を行っている。テーブル席であったり、ソファであったり、その日の気分自由に過ごして頂ける様な支援を心掛けている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様のご自宅で使用されていた馴染みの家具や装飾品を居室に配置して、本人様が居心地良く過ごせる様に支援を行っている。又ご希望があれば、畳敷きの部屋に工夫する事も出来る。</p>	<p>居室はフローリングに腰高窓の仕様で、ベッド、エアコン、タンス、クローゼットが備えてあり、ドアには間違いを防ぐため貼り絵やリボン等で工夫されている。利用者の意向を確認しながら日常的に清掃や整理整頓の支援に努めている。利用者は家庭同様に落ち着いて過ごせるように、畳や家族写真、テレビ、位牌、椅子、冷蔵庫等を自由に持ち込み、自身の作品や誕生日の寄せ書き等も飾って、その人らしい和やかな雰囲気のある居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>「安全で使い易い」を念頭に置いて、トイレや浴室内等に手摺を付けている。動線には物を置かず、安全に歩行出来る様に支援を行っている。各居室の入り口にネームプレートを掛け、確認して頂ける様に支援を行っている。わかり易い大きな文字で「トイレ」と表示を行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない